

「新大分スタンダード」で目指す授業像(数学)

①主体的な学びを促す「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」の設定

- ・数学的に表現された問題から、生徒が課題を持ち解決の方針を立てられる取組が行われている。
- ・「まとめ」は生徒の発言を基に行い、生徒の発言から次の学びにつなぐ「振り返り」が設定されている。

②板書の構造化

- ・生徒の思考の流れに沿って整理した板書であり、文字の色分けや枠囲みも適切である。

③「努力を要する状況」の生徒に対する手立ての工夫

- ・C層の生徒に対して効果的な支援を行い、授業中にBまで伸ばしている。
- ・定着のために家庭学習につなぐ指導も行っている。

④生徒指導の3機能を意識した問題解決的な展開の授業

- ・数学的な表現を用いて説明する場面では、生徒同士で練り合い、生徒自身で過不足を修正して説明を完成させている。